

令和4年度看護学科入学者選抜試験 国語総合 試験問題(4-1)

HP 公表用

問題 次の三編の文章をよく読んで後の問いに答えなさい。

文章1は、細川英雄「言語・文化・アイデンティティの壁を越えて——ともに生きる社会のための対話環境づくりへ」より、文章2は、細川英雄『自分の〈ことば〉をつくる』より、文章3は、朝日新聞「天声人語」(2021年7月27日)より、それぞれ引用したものです。なお、設問の都合上、一部を省略したり表記を変更したりしています。

引用した文章は省略しています。

(細川英雄「言語・文化・アイデンティティの壁を越えて——ともに生きる社会のための対話環境づくりへ」、佐藤慎司・佐伯胖編『かかわることば』より一部改変)

(細川英雄『自分の〈ことば〉をつくる』より一部改変)(朝日新聞「天声人語」、2021年7月27日)

- 問1 下線部①から⑧は漢字を用いてどのように表記できるか。カタカナを書き換えなさい。
- 問2 下線部AからEの表現はどのような意味か。本文の文脈にそって他の表現で書き換えなさい。
- 問3 下線部ア「自分誌を持っています」とはどのような意味か。本文中の語句を用いるとともに身近な例を挙げて具体的に説明しなさい。
- 問4 下線部イ「一人の個人の中にさまざまなことばが内在している」とはどのような意味か。本文中の語句を用いるとともに身近な例を挙げて具体的に説明しなさい。
- 問5 下線部ウ「もっと大きなもの、全体的なもの」とは何か。分かりやすく言い換えて具体的に説明しなさい。
- 問6 文章中の空欄部分にはそれぞれのことを整理したものが入ります。本文中の語句を用いて30字以内でまとめなさい。句読点も文字数とする。
- 問7 文章1と文章2を読み、「ダイアログとしての対話行為」を展開することと「ことば」の存在とその意味を知ることについて、筆者の考えを100字以内でまとめなさい。
- 問8 文章3を読み、人と人の関係をつくり・つなぐための総合的・総体的やりとりのプロセスとしての「ことば」のあり方についてのあなたの考えを400字以内で具体的に述べなさい。その際、次の条件に従うこと。

・文章1と文章2で理解したことをふまえ、文章1および文章2で使われているキーワードを引用すること。

・全体を次の4段落で構成すること。

第1段落 あなたの考え

第2段落 あなたの考えを支える根拠

第3段落 予想される反論とそれをふまえた考え(文章1、文章2からの引用等)

第4段落 まとめ